

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6 年 3 月 12 日

事業所名 光道園 こども支援センターえがお 保護者等数(児童数)25人 回収数 18人 割合 72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1		1		設置基準は満たしています。 今後も活動の部屋の使い方を工夫していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2			・保育園より手厚い対応をして頂けております。 ・丁寧にみてくださり大変ありがたいが、先生方は負担が大きすぎるのではないかと思います。	制度上の配置数は基準を満たしています。 お子さんの人数や活動内容により応援体制をとり対応しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16			2		子どもたちにとって分かりやすい環境の工夫をおこなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	1				子どもたちが帰った後、部屋、おもちゃ等の消毒をおこない、安心、安全に過ごせるようにしています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	18					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	2		1	・地域支援は考えたことがなかったです。	・ガイドラインの説明は契約時と、事業所評価時等でお伝えさせていただいています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18					
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	15	2		1		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	1	2	4	・事業所の活動としてはない。	・事業としての活動は現在ありません。理由としては利用児全員がすでに地域の保育所等に通われているためです。 保育所等に通われていない利用児に関しては今後通うことを検討している保育所等と交流の場を検討していきます。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	18					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10	2	2	4	・保護者向けに家庭でできる事などもう少しアドバイスがほしい。 ・子育て支援センターでペアレントプログラムは受講しました。 ・特別そういった機会は無かった。	・ペアレント・トレーニングは実施していませんが、保護者支援として電話や個別支援会議等で詳しくお伝えできるようにします。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	2				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1	4	6	・交流の場や活動支援をしてほしい。 ・父母の会も保護者会も参加したことがないので、どのような方々なのか分らない。 ・ぜひ機会を作ってほしい。	・6年度は勉強会が開催できるように考えていきます。 ・えがおには現在「父母の会」はありません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2		1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16		1	1		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18					

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	1		2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	4			・「えがお楽しみ」と言う時もあれば「えがおこわい」と言う時もある。	・お子さんの声を聞かせていただきありがとうございます。「こわい」という言葉の持つ意味を事業所内で話し合い、支援につなげていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	18				・いつも丁寧なご支援をありがとうございます。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。